

PROGRAM

●ドビュッシー

「牧神の午後への前奏曲」

DEBUSSY ● PRÉLUDE À L'APRÈS MIDI D'UN FAUNE

●ファリャ

「三角帽子」第2組曲

FALLA ● EL SOMBRERO DE TRES PICOS

INTERMISSION

●フォーレ

「レクイエム」

FAURÉ ● REQUIEM

ドビュッシー ● 「牧神の午後への前奏曲」

クロード・ドビュッシー(1862~1918)は、絵画や美術作品、詩人たちからさまざまな刺激を受け、中世の旋法や西欧以外の音楽にも魅せられて、伝統的な音楽の枠組みから抜け出た“印象主義”と呼ばれる音楽語法を確立して20世紀音楽の扉を開いた。

この「牧神の午後への前奏曲」は、ドビュッシーの代表的な傑作の一つ。彼がフランス象徴派の詩人マラルメ(1842~98)の田園詩「牧神の午後」(1876)に寄せて1892年から94年にかけて作曲したもので、印象主義音楽の記念碑的な作品となった。

「牧神が、シチリアの岸辺の熱い砂の上で真昼の眠りから覚めると、葦の茂みから水浴びしているニンフたちが見える。まどろみとうつつが交錯するなかで、牧神はしばしニンフたちの幻影を追い求め、やがてふたたび葦笛の音に誘われて眠りに落ちてゆく」といったマラルメの詩に、ドビュッシー自身「きわめて自由な挿絵」のように音楽を書いたと告げている。

マヌエル・デ・ファリャ(1876~1946)は、スペイン民族主義楽派の最も優れた作曲家。この『三角帽子』はもともとバレエ音楽で、『恋は魔術師』(1915)とともに彼の代表作。

1916年、ファリャは高名な舞踊興行主ディアギレフから「ロシア・バレエ団」のために作曲を依頼され、以前から練っていた構想を作品にまとめ上げた。『三角帽子』はスペインの作家ペドロ・アントーニオ・デアラルコン(1833~91)の傑作で、権力の象徴である三角帽子を被って威張る代官が粉屋の美しい奥さんに横恋慕して、さんざんな目にあう話。

バレエは2幕仕立てで作られたが、ファリャはそのなかの主要な部分を取り出して、2つの演奏会用の組曲を作った。第1部から「第1組曲」が、第2部から「第2組曲」が構成されている。今回、演奏されるのは第2組曲。

1. 「隣人たちの踊り」

聖ヨハネ祭の夜、近所の人たちが粉屋の庭に集まって踊るセギディーリャ舞曲。アレグロ・マ・ノン・トロポ、4分の3拍子。

2. 「粉屋の踊り」

人気者の粉屋の亭主が踊るファルーカ舞曲。ポコ・ヴィーヴォ、4分の3拍子。アンダルシア風のリズムとムーア風の装飾の多い旋律が巧みに結びあわされている。

3. 「終幕の踊り」

粉屋を逮捕し、女房をそのすきに自分のものにしてしようとした代官が目論みに失敗したあとのフィナーレ。ポコ・モツ、4分の3拍子、8分の6拍子。ホタ舞曲の調べに乗った壮麗でバイタリティにあふれた終曲。



東京合唱協会

1984年4月、常任指揮者に内藤彰を擁し、結成された。オペラや色々なコンサートでソロ活動をしている声楽家を中心にして組織され、これまでに定期演奏会、各地での特別演奏会、ファミリーコンサート、オペレッタ公演、テレビ出演等の他、音楽鑑賞教室、NHK学校放送、教育用レコードの録音等、オーソドックスな合唱から、華やかなオペラ・ミュージカルまでこなせる迫力あるプロ合唱団として、親しまれてきた。特に定期演奏会の模様は「音楽の友」でも大きく取り上げられ、NHK-FMやTBS「百万人の音楽」からは特集番組として放送され、話題を呼んだ。ステージも年間100回を越え、東京合唱協会により初演された曲も数十曲を数える。



東京ニューシティ管弦楽団

1987年音楽監督、常任指揮者に内藤彰を擁し設立された。定期演奏会の他、名曲コンサート、協奏曲、バレエ・オペラの伴奏、音楽鑑賞教室、レコーディング等幅広く活躍。20数回にわたるユニバーサルバレエ団の日本公演や、世界のオペラ界で活躍しているレナータ・スコット、アルフレード・クラウス、カーティア・リッチャレリ等との共演では、聴衆や評論家のみならず、世界の一流オーケストラと共演している彼らからも、心からの謝辞と絶賛の言葉を贈られた。また'91年2月の韓国ソウルにおけるオペラ・バレエ等の公演でも高い評価を得た。メンバー個人個人の實力はもちろん、それぞれの暖かい人間性も共演の指揮者、ソリストから大変高く評価されている。



内藤 彰 | 指揮

名古屋大学理学部卒業。在学中より指揮を山田一雄氏に師事する。桐朋学園大学研究科(指揮専攻)にて、小沢征爾氏、秋山和慶氏、尾高忠明氏他に師事し修了後、(社)山形交響楽団の専属指揮者を3年間務める。これまでに新日本フィル、東フィル、東響、新星日響、シティ・フィル、九響、名フィル他、日本の多くの主要オーケストラを指揮してきた。国内での活動の他、ベオグラードフィル、新体制で話題のモスクワ響等を指揮し、今後のヨーロッパでの活躍も注目されている。日本指揮者協会幹事。



大倉 由紀枝 | ソプラノ

国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。古田美代子、柴田喜代子、柴田睦陸、ニコラ・ルッチの各氏に師事。1978年、第13回民音コンクール第1位受賞。1979年、イタリヤに留学。ミラノにてケリニー女史に師事。1981年、「カプレッティ家とモンテッキ家」のジュリエッタでデビュー。その後「ジャンニ・スキッキ」のラウレッタ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「コジ・ファン・トゥッチ」のフィオルデリーゼ、「ホフマン物語」のソプラノの四役、「魔笛」のバミーナ、「ドン・ジョヴァンニ」のエルピラとドンナ・アンナ、「シモン・ボッカネグラ」のアメリカ、「チャルダッシュの女王」(ハイライト)のシルヴァ・ヴァレクス等を演じ好評を博す。また、1990年2月の二期会創立40周年記念公演「お蝶夫人」ではタイトルロールを演じる。コンサート活動に於いては、ベートーヴェン「第九交響曲」を始め、小澤征爾指揮によるマーラー「交響曲第2番(復活)」「交響曲第8番(千人の交響曲)」「嘆きの歌」やハイドン「天地創造」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」、ブリテン「戦争レクイエム」、ヴェルディ「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」等幅広いレパートリーを持ち、特に1989年のN響定期オネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」(若杉弘指揮)では聖女マルグリットを歌い絶賛されるなど国内外の著名な指揮者やオーケストラと協演している。日本を代表するソプラノの一人である。二期会会員



勝部 太 | バリトン

福岡教育大学英語科卒業。東京芸術大学大学院声楽科修了。オペラ研究所第一期生修了。1979年10月文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。中山悌一氏に師事。第45回日本音楽コンクール第一位。第7回、第19回シロー・オペラ賞受賞。1991年第1回出光音楽賞受賞。1976年労音主催公演ビゼー「カルメン」のエスカミリーヨでデビュー。翌年、二期会公演フッチーニ「蝶々夫人」のシャーフレステで一躍注目を浴び、モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」ではタイトルロールを見事に演じて絶賛を浴びる。その後、「ファルスタッフ」のフォード、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のアルフィオ、「ラインの黄金」のワルクレー、のヴォータン、「ジークフリート」の「神々の黄昏」のアルベリヒ、「タンホイザー」のヴォルフラム、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」のコートナー、「フィガロの結婚」の伯爵、「魔笛」の弁者、「こもり」のファルケ、「三文オペラ」のメッキース、「ちゃんちぎ」(團伊玖磨)の狐のおとつさま、「金閣寺」(黛敏郎、日本初演)の溝口、「沈黙」(松村禎三、世界初演)のキチジロー等、数多くのオペラに出演。また、演奏会形式で、小澤征爾指揮、新日フィル公演「アッシジの聖フランシスコ」(日本初演)のフランシスコ、若杉弘指揮、N響公演「ペレアスとメリザンド」、「光太夫」(フェイノフ、世界初演)等に出演している。更に、ドイツリート演奏者としても、その實力はおおいに認められており、これまでにベートーヴェン、レーヴェ、シューベルト、シューマン、ブラームス、ヴォルフ等の歌曲によるリサイタルを日生劇場、水戸芸術館等で度々行っている。東邦音楽総合芸術研究所助教授。東京芸術大学講師。二期会会員。

MEMBERS

東京合唱協会

- | | | | | |
|-------------------------|---|--|--|---|
| ◎音楽監督・
常任指揮者
内藤 彰 | ◎ソプラノ
今村 由美子
ト部 博子
櫻木 伴実
叶野 明子
栗田 真希子
篠田 美由紀
菅 まろ美
鈴木 由美子
只野 裕美子
堀井 誠子
六角 玲子
百合 道子 | ◎アルト
石田 幸子
稲葉 洋子
江副 淳子
釘本 涼子
篠原 百合乃
鈴木 マチ子
鈴木 光子
高木 朋子
田村 真壽美
林 里花
平井 淳子
山川 一江 | ◎テノール
粟飯原 俊文
小屋敷 真
佐藤 紀彦
内藤 裕史
松永 国和
渡辺 直人 | ◎バス
荒木 誠
池本 和憲
石井 敏郎
植田 真史
熊谷 隆彦
鈴木 雪夫
箕輪 健勉
若林 勉 |
|-------------------------|---|--|--|---|

東京ニューシティ管弦楽団

- | | | | | |
|-------------------------|---|--|---|--|
| ◎音楽監督・
常任指揮者
内藤 彰 | ◎Violini
Viola
藤田 めぐみ
上原 まさみ
桜井 多美子
磯辺 優美子
大木 伸子
大津 千代子
小澤 薫
小野 久美子
桑原 晴子
小橋 行雄
佐々木 由紀子
塩路 まもる
杉本 伸陽
鈴木 るか
高階 久美子
中島 久美
中村 智香子
春山 笙子
広岡 香 | ◎Violini
Viola
広瀬 雅子
藤田 順子
松田 美奈子
光行 澄子
村岡 紹子
山川 奈緒子
吉井 孝子
脇山 明子
渡辺 浩子
宮澤 等
鈴木 和生
青島 直樹
渥美 光太郎
木島 香
寺田 しのぶ
萬代 裕子
禎野 慎也
◎Contrabassi
金岡 秀典
飯田 啓典 | ◎Trombe
◎Flauti
◎Tromboni
◎Oboi
◎Violoncelli
◎Clarineti
◎Fagotti
◎Corni
◎Arpe | 甲田 幹英
◎Trombe
小野本 明弘
小貫 誉
三澤 慶
◎Tromboni
安部 彰
白濱 俊宏
末次 孝規
◎Tuba
松下 晃一
◎Percussioni
尾花 章子
鷺森 雅古
大地 聖子
高山 泰利
藤城 佳之
◎Arpe
中山 かほる
平島 さより
小川 正毅 |
|-------------------------|---|--|---|--|

●次回のお知らせ

東京ニューシティ管弦楽団第5回定期演奏会 <指揮:内藤彰 ピアノ:ウラジーミル・カーメンツ>

数々の国際コンクール歴をほこる。